



第4次総合計画の

改訂にあたって

府中町は、昭和12(1937)年に町制に移行し、平成29(2017)年に80周年を迎えました。

これまで市町村合併などを経験することなく、人口5万人を超える成熟した都市へと発展してきたことは、先人達のたゆまぬ努力と情熱の賜物であり、私たちは人口減少・少子高齢化社会にあっても、この便利で活気あふれる府中町を着実に次世代へつないでいく必要があります。

平成28(2016)年に策定した第4次総合計画では、「ひとがきらめき まちが輝く オアシス都市 あきふちゅう」をまちの将来像に掲げ、「商・工・住のバランスを保ち、次世代へ元気をつなげるひととまち」を新たな基本理念に設定してまちづくりを進めてきており、この度計画期間の中間年にあたることから、これまでの取り組みの評価を行い、改訂を行うこととしました。

改訂にあたっては、基本理念を継承しつつ、喫緊の課題である災害への取り組み強化やデジタル化推進など、社会情勢の変化にも柔軟に対応することとしており、引き続き、「府中町に住んでよかった、住んでみたい」と感じていただけるまちの実現に向けた取り組みを進めてまいります。

最後に、本計画の改訂にあたり、貴重なご意見やご提案をいただきました町議会議員やまちづくり推進懇話会の皆様をはじめ、アンケート調査にご協力いただいた住民や事業者の皆様にご心より感謝を申し上げます。

令和3(2021)年3月

府中町長 佐藤 信治